

香取地域における農産物の利活用に向けて

～令和6年度香取地域キャリアアップ研修・
かとり農業女子ネットワーク合同研修会を開催～

香取農業事務所改良普及課 令和6年7月8日発

農業事務所は、7月3日(水)に香取市山田公民館において、農産物の利活用に向けた女性農業者向けの研修会を開催しました。当日は、かとり農業女子ネットワーク会員15名、セミナー生2名、夷隅地区漁協女性部連絡協議会会員8名が参加し、調理実習及び農産物加工に関する講義を実施しました。

調理実習では、お互いの地域の食材を使用した料理を作りながら、交流を深めることができました。参加者からは「異なる職種の食文化を聞くことができるととても勉強になった」という感想がありました。

講義では、ホシザキ関東(株)を講師に招き、HACCPに配慮した農産物の加工方法についての講義とともに、真空包装機を利用した漬物加工の実演があり、規格外野菜の活用に役立てるために参加者は熱心に耳を傾けていました。



調理実習の様子

1 千葉県ホームページに掲載希望



漬物加工の実演の様子

情報発信者

香取農業事務所改良普及課

普及指導員 奥畑徹之

香取地域の水稲栽培の省力化に向けて

～令和6年度香取地域水稲現地検討会を開催～

香取農業事務所改良普及課 令和6年8月19日発

農業事務所では、7月29日(月)に香取合同庁舎及び現地水田において、香取地域水稲現地検討会を開催しました。水稲生産者45名が参加しました。

講習会では、県担い手支援課、シンジェンタジャパン(株)及び(株)関東甲信クボタから講師を招き、乾田直は及び湛水直はにおける栽培方法について説明していただきました。現地視察では、湛水直はの新しいコーティング資材である「リゾケアXL」の栽培ほ場にて生育を確認し、生産者と意見交換しました。

参加者からは、「作付面積の拡大に伴い省力的な技術として直はに興味があり、今回の研修で理解が深まった」との声がありました。また、来年度以降に導入を検討する参加者もあり、今後の普及拡大が期待されます。



講習会の様子



現地ほ場の様子

1 千葉県ホームページに掲載希望

情報発信者

香取農業事務所改良普及課

普及指導員 濱端柊平

多古町で野菜栽培機械の実演会を開催

～水田裏作での野菜栽培の定着に向けて～

香取農業事務所改良普及課 令和6年10月7日発

多古町では、基盤整備後に水田裏作の野菜栽培に向けて試作に取り組んでいます。そこで農業事務所では、キャベツやブロッコリー栽培の省力化を目指して、9月18日(水)に基盤整備予定2地区において、「畝立て同時施肥機」及び「半自動野菜移植機」の実演会を開催しました。

当日は、水稻生産者及び関係機関51名が参加し、ヤンマーアグリジャパン(株)から各作業機の特性及び使用方法について説明を受け、実演の様子を見学しました。

その後、生産者も実演機で定植作業を体験し、実際に労働負担の軽減効果を感じていました。また、アンケートでは、野菜栽培における機械導入に加え、畝立て・定植作業の省力化に関心が高まったことが伺えました。農業事務所では、今後も安定した野菜生産に向けて栽培技術の導入を支援していきます。



実演会の様子



生産者による作業体験

1 千葉県ホームページに掲載希望

情報発信者

香取農業事務所改良普及課

普及指導員 奥畑徹之

酪農後継者の自給飼料生産技術向上を支援

～飼料用トウモロコシ栽培検討会を開催～

香取農業事務所改良普及課 令和6年12月23日発

農業事務所は、自給飼料生産に主体的に取り組み始めた酪農後継者3名を対象に、飼料用トウモロコシの栽培技術向上を目的とし、計2回の検討会を開催しました。検討会に先立ち、県畜産総合研究センターと連携し、各戸の栽培管理や生育等を調査・分析しました。

収穫開始前に行った7月2日の中間検討会では、基礎的な技術を説明したほか、各戸の栽培概要や栽植本数等の調査結果を共有しました。その上でほ場を巡回し、実際の生育状況を確認しながら具体的な管理等について情報交換しました。参加者からは、収穫適期の判断方法や害虫・雑草防除についての質問が出るなど、技術向上への意欲が見られました。

12月17日の実績検討会では、収量等の結果から栽培を振り返りました。試験研究の知見も踏まえながら次作に向け意見交換し、株間の調整やほ場の均平等、改善点を把握することができました。農業事務所は、畜産農家の自給飼料生産を今後も支援していきます。



中間検討会でのほ場巡回



実績検討会での調査結果共有

1 千葉県ホームページに掲載希望

情報発信者

香取農業事務所改良普及課

上席普及指導員 綿貴 俊貴